

令和2年7月30日

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けての  
令和3年度（2021年度）工学部 SAIL 入試における対応について

2021年度 SAIL 入試については総合型選抜学生募集要項（8月上旬～8月中旬頃公開予定）に基づき実施する予定ですが、新型コロナウイルス感染症による高校の臨時休校等の影響を考慮し、以下の対応をとりますのでお知らせします。

○調査書について

入学時から出願時点までの学習状況の記載を求めることに変更はありませんが、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休校等のために記載できない項目がある場合は、その理由を付した上で記載不可として差し支えありません。臨時休校等のために記載できる事項が少ない場合でも、そのことにより本学が志願者に不利益な取り扱いをすることはありません。

○特別活動レポートについて

（生命工学科）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、本年度に限り、実験や調査に関する特別活動レポートだけでなく、オンライン講習等を活用した特別活動レポートも可とします。また、実験や体験学習を途中まで行っている場合には、行ったことまでの報告と、その後の計画、想定される結果についてまとめたレポートも評価対象として選考を行います。

（生体医用システム工学科）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、本年度に限り、実験や体験実習を中心にした特別活動レポートだけでなく、文献調査や YouTube 等のビデオ講習を活用した特別活動レポートも奨励します。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により予定していた実験や体験実習を完了できていない場合、現時点までの取り組み状況と成果獲得に向けた努力のプロセスを記入した特別活動レポートも評価対象として選考を行います。

（化学物理工学科）

特別活動レポートは、社会問題を単に書くのではなく、自然科学を題材とした実験や調査について書いて下さい。実験や調査としては、自主的に行った研究、高校のクラブ活動で行ったもの、大学等の体験教室で行ったもののほか、ビデオ講習を活用したものなどが挙げられます。ただし、クラブ活動などの場合は、自分で行った点を明らかにして下さい。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により予定していた実験や体験実習を完了できていない場合、現時点までの取り組み状況と成果獲得に向けた努力のプロセスを記入したレポートも評価対象として選考を行います。

(知能情報システム工学科)

新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、今年度は予定していた特別活動が完了できていない場合でも、現時点までの取り組み状況と成果獲得に向けた努力のプロセスを記入した特別活動レポートも評価対象として選考を行います。

### ○第二次選考の実施方法について

第二次選考について、試験日の新型コロナウイルス感染症の状況次第では、オンラインで遠隔実施する可能性があります。その場合は、本学ホームページにてお知らせします。

※上記の内容は現時点のものであり、今後の国内の感染症の拡大状況や社会情勢等により、さらに変更が必要になる可能性があります。その場合は本学ホームページにてあらためてお知らせしますので、注意してください。